

第2部 計画の目標とその実現に向けて

第2部 計画の目標とその実現に向けて

第1章 国分寺市の環境の現況と課題

1 自然の中の私たち

当市では、昔から崖線の裾から湧出している湧水が生活用水や農業用水に使われたり、樹林地で取れる薪や落ち葉が燃料や肥料に使われたり、自然と人々の暮らしが有機的に結びつき、自然が大切にされ、親しまれてきました。

しかし、上下水道が整備され、電気やガスが普及することによって薪や肥料を得る必要もなくなり、自然と暮らしの結びつきが弱くなってきました。また、急激な都市化の進展に伴って、樹林地や農地の減少が続いています。

それらの緑や水辺空間の減少に伴い、在来の動植物も少なくなっています。崖線緑地や農地、湧水・用水を生き物の生息空間も考慮しながら、適正に管理・保全し、水と緑のネットワーク化を進めていくことが求められます。

2 健康で安全な暮らし、うるおいのあるまち

私たちが健康で安全に暮らすためには、きれいな空気、安全でおいしい水や食べ物が欠かせません。それらに加え、国分寺らしい街並みの中で、公害や交通事故の危険がなく、人と人とのきずながある暮らしを私たちは求めています。

自動車の排気ガス等による大気汚染を防止するほか、有害化学物質[※]等を適正に管理し、正確な情報を提供することが必要です。水質調査を継続実施し、上下水道を適正に維持管理することも求められます。

また、食の安全性に関する積極的な情報公開や地場産の旬の食材を手軽に入手できる環境づくりが求められます。

さらに、市内の道路網整備を進め、身近な生活道路を安全・快適に歩けるようにすることも重要です。

そのほか、豊かな自然や歴史を大切にしながら、地域社会のなかで助け合いの心を育むことができるよう、自分たちで地域の課題を見つけ、解決するしくみが求められます。

3 地球上の私たち

大量生産・大量消費・大量廃棄の社会システムの中で、私たちは物質的に豊かになった反面、資源・エネルギーの限りない消費を生み出してきました。

これらの影響等により近年、地球温暖化^{*}や、オゾン層^{*}の破壊、酸性雨などの地球環境問題が引き起こされています。私たちは健康で恵み豊かな環境を将来世代へ継承できるように、環境の保全・回復・創造に取り組んでいく必要があります。

私たちが生活していく上で利用する資源やエネルギーも限りあるものとして認識し、市民・事業者・市が一丸となって、省資源・省エネルギーに取り組むことが求められます。

そのためには、ごみの減量・再利用やリサイクルを進めることなどをはじめ、日常生活や事業活動の全般にわたった見直しを行い、「循環型社会」の形成に向けた取り組みを一層強化することが求められます。

第2章 望ましい将来像と環境都市に向けた条件整備

1 望ましい将来像

前章の「国分寺市の環境の現況と課題」を踏まえて、核となる要素ごとの望ましい将来像を次の通り定めます。

核となる要素と望ましい将来像

つなぐことば	核となる要素	望ましい将来像
自然の中の私たち	緑	「緑と人とのいい関係をつくって、緑を残す・創る」
	水	「豊かできれいな湧水、おいしい水、水の流れ」
	生物	「多様な生物との共生」
健康で安全な暮らし、 うるおいのあるまち	公害	「きれいな空気・公害のないまち」
	食	「安全で豊かな食」
	道路・交通	「安心して、気持ちよく歩ける道」
	人	「安心して暮らせる、人のきづなのあるまち」
	景観・歴史	「国分寺らしい景観・住み続けたいまち」
地球の上の私たち	ごみ	「資源を大切にして、ごみゼロをめざす社会」
	地球環境	「持続可能な地球環境」

2 環境都市に向けた条件整備

「健康で恵み豊かな環境を享受し、それを将来世代へ継承する」を基本理念として、市は市民及び事業者等と協働しつつ、本計画を率先して強力に実行していきます。そして、環境都市としてその決意を宣言できるよう、条件整備を進めます。